

# スポーツのある暮らし

# WHAT

東京オリパラ開催を火種とし、スポーツイベントの開催、新施設の導入を行う。

→県民にスポーツ文化を認知し、体験してもらうことによってオリパラ種目（スポーツ）に興味を向けさせる。

→①スポーツ観戦習慣をつくる。

②スポーツ習慣をつくる。

→①,②により経済に利潤を。

②により、コミュニティが広がり地域が活性化、市民の健康化

# WHY

## ①既存の“ならでは”を活かすため

→五輪新種目として取り上げられる“野球（マリーンズ）”を武器にすることによって、野球人口（スポーツ人口）の増加を狙える。

## ②新規の“ならでは”を築き、浸透させるため

→五輪新種目であるサーフィンをはじめとした、横乗りスポーツ、アーバンスポーツを浸透させることによって全国においてスポーツ文化のパイオニアとなれる。→注目度上がる。

## ③少数派の“ならでは”を拾い、多数派へ（県内において）

→パラ種目をスポーツコミュニティツールとして使うことによって、身体障害者、高齢者、幼年人口のスポーツ参加が見込まれる。

# WHO

- ・ GEN Z (18~24age)  
→オリンピック種目
- ・ 障害者、高齢者 (60+ age)  
→パラリンピック種目

# WHEN

(Beginnig) オリパラ開催まで

(All year) Monthly (での地域イベント)  
Everyday(新施設によりいつでも  
が可能に)

# WHERE

## 千葉駅周辺（特に西口側）

- ・東京から千葉細部への中間地点であり、千葉市全体の中心を担うエリアであるから
- ・新種目の中には音を必須とするものがあるので騒音問題を考慮し、駅近かつ人気のない場所

## 京葉線（千葉みなと～海浜幕張間）の線路沿い

- ・音問題かつ、アクセスの良いエリアとして線路沿いを

## 千葉大学西千葉キャンパス周辺

- ・ターゲットとするGEN Zの多い西千葉エリアはスポーツ文化創成の鍵になる。

# HOW

## MONTHLYでのイベントの開催

新スポーツ施設（アーバンスポーツやサーフィンも行える）  
の建設（モノレール沿いなど） or リノベーション（空き家の有効活用）  
→ 共創都市圏民に対し格安 or 無料で貸し出す。（学生は無料）

# ACHIVEMENTS of RESULTS & GOALS

共創都市圏なら様々なスポーツを手ごろに手軽に行える、暮らしの一部と感じさせることにより圏民自体にライフスタイルの良さを味わってもらおう。そして圏外・県外から注目をあつめることによって、人口の流出を防ぎ、流入につなげる。**(人口問題の解消)**

ライフスタイルにスポーツを多く溶け込ませることによって幅広い世代における運動の機会を与え、コミュニケーションの機会をつくる。**(圏民の身体・精神の健康維持)**

スポーツ文化浸透により、スポーツ観戦、スポーツ参加、スポーツビジネス（広告、スポンサー etc.）が多くなりお金の動きが大きくなる。**(経済発展)**

→モノレールを利用し、多くのスポーツ施設へ。またモノレール自体に広告機能的価値が。**(既存施設・設備の有効活用)**